

2024 年（後期）

科目名（副題）		開講時間	単位	担当者名
対話と支援		11：00-12：00	4	山本登志哉
授業概要				
この授業は一方的な講義の場ではなく、障がい者支援をめぐり、当事者と支援者がお互いの悩みや希望を語り合い、それぞれが抱える困難についてお互いの理解を深め、乗り越えていく、共生への支援を対話を通して模索する、インクルーシブなアクティブラーニングの場です。				
授業目標				
・支援者は障がい者にうまく話が伝わらなかつたり、障がい者のいうことがうまく理解できなかつたりすることがあります。障がい者もなぜ支援者がそんなことを言うのかわからなかつたり、なぜ自分の言うことを理解してもらえないのか悩むことがあります。そんなとき、わからないところをお互いに聞きあって、もう一歩進んで理解し合うことができないでしょうか。ここは支援者が一方的に障がい者を理解したつもりになる場でもなく、逆に障がい者が一方的に支援者を理解したつもりになる場でもなく、それぞれの立場から、それをどう理解したらいいのかを考え、お互いになんとなく納得いくような理解の仕方を模索していきます。その意味で対等な関係づくりを目指す場です。				
授業方法				
まずは就労移行支援事業所のスタッフから、「こういうことを理解してもらいたいんだけど、なかなか理解してもらえない」とか「障がい者に言われたことの意味がよくわからない」といったことで悩むことをお話しいただきます。そしてみんなで「なぜ伝わらないのか、なぜわからないのか、どう理解したらいいのか」といったことを話し合ってみます。また逆 SST のサンプル動画を見て、そこから感じたこと、考えたことを話し合ってみたり、だれかが出題者となって逆 SST を行い、「私はこういうことをしたり言ったりするんですが、周囲の人にはなかなか理解されません。私はどうしてそんなことをしたり言ったりするのでしょうか？」とみんなに尋ねて、参加者はその人の思いをどこまで理解できるかに挑戦する、といったこともやってみたいと思います。その他、相互理解のためのいろんな工夫ができると思います。				
成績評価方法・基準				
出席 70%、レポート 30%				
教科書・教材・参考文献 等				
パワーポイント提示。参考図書「ディスコミュニケーションの心理学：ズレを生きる私たち」（山本・高木編。東大出版会）「自閉症を語りなおす：当事者・支援者・研究者の対話」（大内・山本・渡辺編。新曜社）「説明・解釈から調整・共生へ：対話的相互理解実践にむけた自閉症をめぐる現象学・当事者視点の理論的検討」（山本・大内・渡辺）質的心理学研究 No. 22, p. 62-82)				
質問への対応				
歓迎します。				
授業経過（授業日程に若干の変更）				
		項 目	内 容	
1	10月2日	ガイダンス	この授業の狙いや進め方、約束事などを説明します。	
2	9日	支援者の悩みを語り合う	支援者が支援していて、障がい者の思いをうまく受け止められないときのことについて、どういうことなのか話し合ってみます。	
3	16日	支援者の悩みを語り合う	支援者が支援していて、障がい者の思いをうまく受け止められないときのことについて、どういうことなのか話し合ってみます。	
4	23日	支援者の悩みを語り合う	支援者が支援していて、障がい者の思いをうまく受け止められないときのことについて、どういうことなのか話し合ってみます。	
5	30日	支援者の悩みを語り合う	支援者が支援していて、障がい者の思いをうまく受け止められないときのことについて、どういうことなのか話し合ってみます。	
6	11月6日	支援者の悩みを語り合う	支援者が支援していて、障がい者の思いをうまく受け止められないときのことについて、どういうことなのか話し合ってみます。	
7	13日	支援者の悩みを語り合う	支援者が支援していて、障がい者の思いをうまく受け止められないときのことについて、どういうことなのか話し合ってみます。	
8	20日	支援者の悩みを語り合う	支援者が支援していて、障がい者の思いをうまく受け止められないときのことについて、どういうことなのか話し合ってみます。	
9	27日	支援者の悩みを語り合う	支援者が支援していて、障がい者の思いをうまく受け止められないときのことについて、どういうことなのか話し合ってみます。	
10	12月4日	支援者の悩みを語り合う	支援者が支援していて、障がい者の思いをうまく受け止められないときのことについて、どういうことなのか話し合ってみます。	
11	11日	逆 SST 動画を見て語り合う	逆 SST のサンプル動画を見ながら、思ったことや考えたことを語り合います。	
12	18日	逆 SST 動画を見て語り合う	逆 SST のサンプル動画を見ながら、思ったことや考えたことを語り合います。	
13	1月8日	逆 SST に挑戦してみる	自分たちで逆 SST を実施することに挑戦してみます。	
14	15日	逆 SST に挑戦してみる	自分たちで逆 SST を実施することに挑戦してみます。	

15	22日	まとめの話し合い	半年の授業を通し、どんなことを感じ、どんなことを考えたか、感想を交流していきます。
履修者へのコメント			
<p>障がい当事者と支援者との間には様々な違いがあります。生きていくうえでの身体的な条件や心理的な条件に違いがあり、またその条件の違いによって生まれる困難を経験したことの有無も大きな違いです。そのようなさまざまな違いは、お互いに相手を理解することの難しさを生み出します。その結果、支援者が自分の感じ方や考え方で「障がい者のために」と思っている支援が、実はその障がい者への誤解によって支援になっていないことがあり、また逆に障がい者が支援者の支援への思いを受け止められずに誤解が積み重なる結果、支援者との関係が悪くなることもあります。支援者はどうやったら障がい者の思いに近づけるのか、障がい者はどうしたら自分のことを支援者にもっと理解してもらえるのか、この授業ではその相互理解とそれに基づく共生の模索という課題と一緒に挑戦していきたいのです。</p>			